

EYE サポートニュース

2022年8月号

目次

センターからのお知らせ	1
利用者懇談会延期のお知らせ	1
SDカードサービス・スタート！	1
臨時休館のお知らせ	2
点字かわら版／総目録差し上げます	2
静岡県からのお知らせ	3
お役立ちミニ情報	4
イベント情報	4
出前センター&防災フェア（予告）	5
8・9月土曜サロンのお知らせ	6
「本の玉手箱」 川をテーマにした図書 ...	9
新刊案内(点字図書)	10
新刊案内(デイジー図書)	16

発行 静岡県視覚障害者情報支援センター

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号

電話番号 054-253-0228

F A X 054-250-0766

E-M a i l info@i-center-shizuoka.jp

ホームページ <http://i-center-shizuoka.jp>

開館時間 9:00～17:00

休館日 日曜日、第4土曜日、祝日、年末年始

センターからのお知らせ

いよいよ夏本番。朝から蝉のこえがひときわ元気で、今日も暑くなりそうです。それと時を合わせるように、7月後半から、コロナの感染拡大も止まりません。皆様、暑さとコロナに負けない夏をお過ごしください。



■利用者懇談会が延期となりました。

7月31日に予定されていた利用者懇談会は、新型コロナウイルス感染症の急拡大により延期となりました。開催日を9月4日（日）に変更し、スケジュール等はアイサポニュース6月号でお知らせした内容で変更はありません。

日時：9月4日（日） 10時～16時15分

会場：シズウエル7階 703会議室

内容：午前 懇談会 午後 各種相談・機器展

※詳細はアイサポニュース6月号をご覧ください。

コロナが少し落ち着いたころ、多くの皆様とお目にかかれるのを楽しみにしています。お問い合わせ・ご予約等は、電話054-253-0228/メールinfo@i-center-shizuoka.jpまで。

■SDカードサービス・スタート！

8月よりSDカードを使用したデイジー図書の提供を試験的に開始しています。

デイジー図書目録に続けて（本誌19ページ）、テーマ別パックを紹介しています。テーマ別パックは今後も追加予定です。

テーマのリクエストも受付けておりますので、ぜひご要望をお寄せください。

また、SDカードサービスの詳細については貸出サービス班までお問合せください。

■臨時休館のお知らせ

9月5日（月）は、前日の日曜日に利用者懇談会を開催するため、臨時休館日となります。いろいろとご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

■点字かわら版「美味しい！楽しい！静岡情報」配信中！

6月号は、夏にそなえて元気ごはんをテーマに、焼津・藤枝のお店をご紹介します。

7月号は、イマドキかき氷を特集しました。

美味しいものを楽しく味わい、暑い夏を乗り切りましょう。

点字かわら版は、アイニュースでのお知らせのほか、ご希望の方には、点字印刷したもの（3枚）を差し上げます。点字データでご希望の方は、メール添付でお送りいたします。ぜひご利用ください。

■2022年度版「総目録」を差し上げます。

センター製作・所蔵の点字・デイジー図書の総目録が完成しました。点字図書・約3928タイトル、デイジー図書・約3221タイトルの書誌情報を収録しています。

ご希望の方には、

- デイジー図書総目録 CD 1枚をお送りします。
- 点字図書総目録（全7巻） 点字データをメール送信します
- 点字印刷された目録をご希望の方は貸し出しになります。

- 必要なページのみでの点字プリンティングサービス（1枚5円）

も行っていきます。

※お申し込みは貸出サービス班までご連絡ください。

■点字図書差し上げます！

バインダーなしの簡易製本です。ご希望の方は貸出サービス班まで

『君はるか』 古関正裕著 全4巻

『間違われた女』 小池真理子著 全7巻

『遠州姫街道殺人事件』 木谷恭介著 全3巻

『青色の殺人』 斎藤栄著 全5巻

静岡県からのお知らせ

■教育啓発特定事業の実施に関するガイドライン

令和2年のバリアフリー法改正により、面的・一体的なバリアフリー化を図るために市町村が作成する計画（バリアフリー基本構想）に基づき、市町村や施設設置管理者等が実施する「心のバリアフリー」に関する事業である教育啓発特定事業が創設されました。

これを受け、国土交通省は本年6月に「教育啓発特定事業の実施に関するガイドライン」を公表しました。

ガイドラインは、市町村等の教育啓発特定事業の継続的・計画的かつ円滑な実施を促進するため、具体的な進め方についての標

準的な手法や望ましい実施方法等をマニュアルとして示したもので、本編と実施マニュアルで構成されています。

本編では、教育啓発特定事業を実施する意義、計画的かつ継続的な実施の必要性、「心のバリアフリー」や「障害の社会モデル」について理解を得ることの重要性、障害当事者の参画の意義、学校と連携して実施する場合のポイント等が掲載されています。

実施マニュアルでは、教育啓発特定事業としての実施が想定される代表的な4つの取組「バリアフリー教室編」、「まち歩き点検等編」、「シンポジウム・セミナー編」、「適正利用等の広報啓発編」について、進め方、企画におけるポイントと留意事項、具体的な実施方法、フィードバックのやり方等について、実施事例等を紹介しつつ、標準的な手法や望ましい実施方法を提示しています。

また、ガイドライン本編では、本県が実施している「声かけサポーター養成事業」が取組事例として紹介されています。

お役立ちミニ情

先日センターで白杖体験をした方がいます。直杖と折り畳み、様々なチップでちょっとした段差や障害物を感じながらの体験歩行。そしてその方は体験後に「白杖で歩いて楽しかった」と言ってくれました。とてもうれしい言葉です。

その白杖歩行、より安心なものにするために、静岡県出身の弁護士・大胡田誠先生から聞いたお話を紹介します。

もし白杖歩行中にトラブルが起きてしまったら・・・

「駅ホームで白杖を使って歩いていたところ、白杖が女性の足に当たり転倒させてしまった」。白杖をお使いの方は誰もが心配する場面かと思います。この例では白杖の使い方が適切であったとのことから責任は問われなかったそうですが、場合によっては賠償ということもありうるそうです。他、白杖で車に傷をつけた、持っていた杖が妊婦に当たって転倒させた、電車が揺れ持っていた白杖が座っていた人の目に当たってしまった、などの例が挙げられました。

このような場合に備えて、「個人賠償責任保険」に入っておくのがよい、というアドバイスがありました。県民共済などで加入できるそうです。ただし、すでに加入している他の保険の特約となっている場合もあるようです。ご検討の際は確認してください。

イベント情報

最近のイベント開催では、コロナの影響を大きく受け、縮小したり、オンライン開催をしたり、工夫をしながらも、皆様にはご不便をおかけしております。

利用者懇談会ももう少し感染が収まる（だろう）9月4日に延期となりました（1頁をご覧ください）。なかなか不安定な状況が続きますが、皆様のお近くにセンターが出かけていく“出前センター”も企画しておりますので、ご都合にあったご参加をお願いいたします。

■予告！！ 出前センター in 磐田

日時：10月29日（土） 10時～15時

会場：アイプラザ（磐田市総合健康福祉会館）

ふれあい交流室3（磐田市国府台57-7）

協力：磐田市視覚障害者協会

※詳細はアイサポニュース10月号でお知らせします。

■第5回防災フェアのご案内（予告）

例年9月に開催しております防災フェアは、11月に開催することになりました。

テーマは、

- 避難所で暮らすってどんなこと？
- なぜ自宅避難にこだわるのか。

あの3.11から11年。私たちはどんなことを記憶として刻んだのでしょうか。何を教訓として学んだのでしょうか。多くの場面が思い出され、憤りや悲しみ、あるいは感動に身を震わせ、言葉にできることもできないこともたくさんのが込み上げて、やは

り、一言では言い表せない思いだけが心に沈殿していく感じ…、ありませんか。

今回の防災フェアでは、昨年に引き続き、避難生活に焦点を当て深めていきたいと思えます。

皆様のご参加をお待ちしています。

日時：11月19日（土曜日）13時15分～16時

会場：シズウエル5階集会室

※Zoom配信もあります。

ゲストスピーカー：的野碩郎氏（練馬区視覚障害者協会、会長）

申込・問合せ：電話 054-253-0228

メール info@i-center-shizuoka.jp

■土曜日の午後はサロンのひととき。

第1土曜日は「ITチャレンジサロン」

～パソコンやiPhone、読書器などに関連したスキルアップをどうぞ。～

第3土曜日は「いーらサロン」

～体験や交流をメインにお楽しみください。～

※来場参加の場合は、必ず事前予約をお願いします。また、マスク、手指消毒、検温、換気の実施等、感染対策にご協力ください。

※Zoom配信も予定しています。ご自宅からもお楽しみください。

■ITチャレンジサロン

●8月6日 「ネットリーダーでインターネット検索をスムーズに！」

～ジャンプコマンドを活用して、快適なネット検索を楽しもう～

ネット検索やウェブページの閲覧が当たり前となり、便利な反面、その情報量は膨大なものになりました。ちょっと調べ物をしたいただけなのに、開いたページの中がメニュー項目やリンクでたくさん。目当ての所に辿り着く前に、疲れてしまうなんてことも…。今回はパソコンを使って、そんな情報の波を快適に乗りこなすためのちょっとしたショートカットコマンドなどを紹介していきます。

日時：8月6日（土）13時30分～15時30分

会場：2階センター内 または Zoom ミーティング

持ち物：ノートパソコン

申し込み・問い合わせ先： ※事前にお申込みください。

電話（9時から17時）：054-253-0228

メール：info@i-center-shizuoka.jp

●9月3日（土）は、利用者懇談会の準備のためお休みです。

●予告！ 10月1日（土） 「あの有用ソフトが無料に！エンビジョンAIを徹底解説！！」

■いーらサロン

●ご案内 「フェスタシズウエル」

8月20日、会館主催の県民の日イベント「フェスタシズウエル」が開催されます。第3土曜日・いーらサロンに代えて、フェスタシズウエルをご案内します。

～楽しく遊んで、たくさん学ぼう！つながる、ひろがる、ふくしの“わ”！～ 福祉団体による様々な展示や物産品販売など、全

館挙げてのお祭りです。私たちセンターも「1日点字教室」で参加し、大勢の子供たちで賑わいます。

ご希望の方には、アイサポ・ボランティアが会館内をご案内することもできますので、お電話にてご相談ください。必ず要予約でお願いします。

※天候や感染症等の状況により、開催を中止することがあります。

日時：8月20日（土）10時～14時

会場：シズウエル全館

申し込み・問い合わせ先：

電話（9時～17時） 054-253-0228

メール info@i-center-shizuoka.jp

福社会館を探検しよう！in フェスタシズウエル

（オープニングセレモニー 1階玄関前）

10時 梨花幼稚園マーチングクラブ

（7階イベントスケジュール）

10時30分 静岡県警察音楽隊コンサート

11時 みどりの丘&みどりの丘えまつ銭太鼓の演奏

11時30分 相沢康夫の積み木ショー

12時 太田克樹の歌謡ショー

13時 爆音戦隊スンプレンジャーショー

（館内の催しを一部ご紹介します）

ふじのくに福産品販売／似顔絵実演／体組成・血管年齢測定

盲導犬・白杖体験歩行／視覚障害者についての相談・質問
コー

ナー／介護の相談窓口／マッサージ奉仕／脳トレーニング
ウクライナのリボンづくり／パラスポーツ体験（ボッチャ
等）・・・

●9月17日 「ユニカールにチャレンジ！」

9月のいーらサロンはスポーツ！！

「ユニカール」にチャレンジ。それ何？と思いましたか。

ユニカールとは Universal Curling の意味で「世界中で楽しめる、誰でも楽しめる」ゲームとしてカーリングをまねて考え出された競技なんだとか。一言で言うならば氷のないカーリング。チームで相談しながらプレーできるのが楽しいそうです。当日はストーンの位置がわかるよう工夫して行います。皆様もぜひ体験してみませんか。ご参加をお待ちしています。

日時：9月17日（土）13時30分～15時30分

会場：シズウエル6階 体育館

持物：体育館で使えるシューズ（外を歩く靴では入れませ
ん）

その他、飲み物やタオル等ご自身でご用意ください。

申し込み・問い合わせ先：

電話（9時～17時） 054-253-0228

メール info@i-center-shizuoka.jp

●予告！ 10月のいーらサロンは、お出かけ。

今回は東部地区を予定しています。秋の1日を楽しみ過ごしましょう。場所は検討中。行きたい所、おすすめの所などありましたらお知らせください。

※いーらサロンご参加の際に、最寄駅からのお迎えをご希望の方は予約の際にご相談ください。

本の玉手箱

■自然の中の川は、見ているだけでも涼しげです。夏に読みたい、川をテーマにした図書を紹介します。

- 『川の名前』 川端裕人著 2004年 早川書房
(点字・デイジー)

ひと夏の冒険が、少年たちを変えた！ 身近な自然と人間のつながりを、まったく新しい視点から見つめた青春小説。

- 『マクリーンの川』 ノーマン・マクリーン著 1993年 集英社
(点字・デイジー)

アメリカ、モンタナの渓流でのフライ・フィッシングを背景に展開する、家族愛と兄弟の絆の物語。映画『リバー・ランズ・スルー・イット』の原作。

- 『川の光』 松浦寿輝著 2007年 中央公論新社
(点字・デイジー)

平和な川辺の暮らしは失われた。晩夏、安住の地を求めてネズミ一家の冒険が始まる。『読売新聞』夕刊で連載。

- 『蛍川・泥の河』 宮本輝著 1994年 新潮社
(点字・デイジー)

思春期の少年の心の動きと、川の上流に降るといふ蛍の大群の乱舞を描く「蛍川」。戦争の傷跡を残す大阪で、河の畔に住む少年と廓舟に暮らす姉弟との短い交友を描く「泥の河」。

- 『華舫（かほう）』 熊谷敬太郎著 2014年 NHK出版
(点字・デイジー)

維新後の明治、圧倒的なスピードと積載重量をほこる川蒸気船の航路が計画されていた。事件に巻き込まれた少女の謎解きを中心として、さまざまな人物が一つの糸に手繰り寄せられるように集約していく。